

参加者33人

《出席議員》（議席番号順、所属常任委員名）

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 堀 武（文教厚生委員）         | 2 くまがい さちこ（文教厚生委員）    |
| 3 西岡 一成（産業建設委員）       | 4 庄田 昭人（産業建設委員会委員長）   |
| 5 森 治久（総務委員会委員長）      | 6 棚橋 敏明（副議長 総務委員）     |
| 7 広瀬 武雄（文教厚生委員会委員長）   | 8 松野 藤四郎（文教厚生委員）      |
| 9 広瀬 捨男（文教厚生委員）       | 10 古川 貴敏（総務委員）        |
| 11 河村 孝弘（産業建設委員会副委員長） | 12 清水 治（総務委員会副委員長）    |
| 13 若井 千尋（総務委員）        | 14 若園 五朗（文教厚生委員会副委員長） |
| 15 広瀬 時男（産業建設委員）      | 16 小川 勝範（産業建設委員）      |
| 17 星川 睦枝（議長 産業建設委員）   | 18 藤橋 礼治（総務委員 議会運営委員） |

## 1. 開会挨拶

□広瀬捨男（司会）（議会活性化推進特別委員会副委員長）

第2回瑞穂市議会報告並びに意見交換会に出席をたまわり御礼申し上げます。

議員全員で皆様の声をお聞きし、市政に反映することがいわゆる住民自治の基本ではないかと考えます。本日の司会を担当します。よろしくお願いいたします。

□広瀬武雄 議会活性化推進特別委員会委員長 挨拶

議会基本条例第5条に基づき、瑞穂市議会議会報告並びに意見交換会の第2回目を開催します。よろしくお願い申し上げます。

□星川睦枝 議長 挨拶

この企画も年に一度で、意見交換を皆さんとともにやりながらよりよい街づくりをしていきたいと思っております。

## 2. 議会報告

所管事業の説明及び答弁者（報告資料は別紙参照）

- ① 総務委員会委員長 森 治久
- ② 産業建設委員会委員長 庄田昭人
- ③ 文教厚生委員会委員長 広瀬武雄

### 3. 議会報告に対する質疑及び意見交換会

#### □給食費について

Q 給食費は、予算が出ている中でなぜマイナスになったのか。

A 文教厚生委員長 当初予算の人数が間違っていたのを是正してマイナスになった。

#### □夏季対策について

Q 夏休み自体が夏季対策だと思うが夏休みが減った。3年生になると塾が入ってきて、10日ほど出席日数が増えた分、欠席日数が増えてしまう。学校の先生たちにどうしてこういう流れになったか聞いても答えていただけないので、この場をお借りして教えていただきたい。

A 文教厚生委員長

アンケートした結果、大変評判がいいということで来年度も引き続きこの方針を採用していきたいと教育長から答弁があった。

Q 周辺の子供たちの聞き取りとアンケートの結果とは違う。全員にアンケートを取って公表するような形でお願いしたい。

A 文教厚生委員長 私どもから教育委員会に再度詳細を聞かせていただいて、回答したい。

#### □市民の歌について

Q 合併10周年記念事業の市民の歌はこれからどうするのか。

A 総務委員長

市民の皆さんに広く周知していただき、多くの市民に親しく口ずさんでいただけるものになるかと願っている。

#### □野田橋歩道橋について

Q 私は毎朝、野田橋で交通整理をやってますが、事業の優先度をどう決めているのか議長にお尋ねしたい。子供たちにとっては、自動車のスリップ事故、大きな事故などがあり、市民の方から危険というお話を伺っている。

A 議長

そういったお話は私どもは聞いていない。地域で自治会長にお願いをして自治会の方から吸い上げていただく形が一番よろしいかと。

A 産業建設委員長

野田橋については、設計予算がついて野田橋の北に歩道をかける。設計予算は議会に報告があり可決しております。

Q 設計も予算も決定しているのは知っているが、いつできるというのが分からん。優先度はどうやって決めるのか。議長さん、教えてください。

A 総務委員長

野田橋の調査は、2年前の調査で予算がついて終わっており、詳細設計で予算が付くあたりで測量し交通量の調査等を行い、市議会、行政の中で優先順位を検討し、早期の実現が図られることを私も一人の市民の立場で願っております。

□下水道について

Q 下水道推進特別委員会にがんばっていただいているが、旧真正町の役場はいまだに接続されていない。役場以外の所はすべて接続されているのに、いろんな圧力がかかって接続できない、なぜか？

A 下水道推進特別委員長

ここは瑞穂市であり、この件については他市の問題ですので答弁はできません。

□本巣支援学校へのバスについて

Q 岐阜駅から本巣特別支援学校まで学校に合わせたバス運行がされていない。将来、瑞穂市も本巣特別支援学校へ通学したり、高等部へ自立通学する子供たちも増えてくるだろうが数が少なく不便だと思う。その子供たちは大垣駅に出て樽見線で本巣駅まで行ってそこからスクールバスやレンタサイクルを借りている。岐阜バスと掛け合っただけでないか。

A 文教厚生委員長

岐阜バスが運営しているので市を通じて伝え、民間経営で採算が合うか合わないかの問題もあるかと思うが、貴重なご意見として反映していきたい。

□電子黒板について

Q 瑞穂市でも電子黒板を導入しているが、スクール相談室や特別支援学級に設置したり、携帯電話も電卓とか色々な機能を使えるように学校でやっていけないか。

A 文教厚生委員長

電子黒板は最近学校で活用しておりますので、支援学級のそういうものがあるに越したことはないと思うので、今後予算編成の中で反映させるように議会としても協力していきたい。

Q 各学校に電子黒板は1つか2つ。その利用を広める事の方が先じゃないか。

A 文教厚生委員長

全体的に電子黒板を増やして活用したらどうかは委員会の方で協議しながら執行部に要請していきたい。

Q 電子黒板は国の政策で備えつけられていると思うが、活用状況についてお伺いしたい。物を入れればよいという事ではなくて実際どれだけ活用されているのかというのが問題だと思う。

A 文教厚生委員長

議会の方では学校に出向いてチェックしたり、あるいは確認したりはしておりません。文教厚生委員会として、電子黒板の利用状況を調査していきたいと思います。

□デイサービスについて

Q 瑞穂市は介護保険のデイサービスを廃止するが、介護保険法の改正を議論している国の方に働きかけていただきたい。

A 文教厚生委員長 平成6年からやっているデイサービスが、当時は民間で事業をやって

いるところが少なかったなので、市が社協に委託してきた。介護保険事業を廃止することについては、今後、障害者関係の相談窓口とかを総合センターの中に設ける考えもあることから、スペースを空けざるを得ない。従って、民間に移行していくという結論であり、廃止については安易に決議した訳ではない。

Q 今度、介護保険法が改正になって要支援 1 は介護保険のサービスから外されるが、介護保険の内容をサービス優先としてほしい事を提案します。

#### □牛牧閘門について

Q 牛牧閘門は瑞穂市の事業か国土交通省の管轄か。逆水樋門は岐阜県では唯一で、歴史的にも江戸時代から何度も再生してきた歴史がある。今回視察したのはどういう意味で視察されたのか。歴史的な文化遺産としても大事にしていきたい。

A 産業建設委員長

国の管轄事業と聞いている。逆水樋門については残す方向で計画がある。私も歴史的建造物だという風に認識をしている。全面廃止、壊してしまうというのではなく移設という方向で残していただきたいと訴えていきたい。

#### □市民講師・講座について

Q 仕事として指圧マッサージをしているが、高齢化で健康管理が難しくなって市の医療財政も非常に多額な出費をされている。健康推進課に電話して、お年寄りが自分でできる指圧の知識を持っていただくために、市として講習・講演を開くようお願いしたら、2日後に課長から電話があり、今のところ課として計画はない、行うつもりもないとお断りの電話があった。私はボランティアとして健康に関する知識を少しでも覚えていただいたらありがたいという事で電話した。そこで、電話1本で断るというのではなく、議員の方からも行政のあり方として今後とりあげていただきたい。

A 文教厚生委員長

健康推進課は健康増進計画の施策をしていて、今の事も健康の一環かと思う。議員の方から、前向きな姿勢のご意見があったと伝えさせていただきたい。

A くまがい議員

マッサージ指圧の講習・講演をといたら断られたという事だが、他の市町では市民講座とか、市民講師登録というのが活発です。瑞穂市の教育委員会ではまだ実現していない。去年から市民講座のチラシが入っている。講師を市民から募集したのか聞いたら、今まで市がやっていたのをそのまま市民講座という名前にしたと聞き、ちゃんと公募すべきだといったら今年は移行期なので。市民講座は一般公募すべきだし、市民講師登録というのは他市町のホームページを見ているといっぱい出てくる。なにかやれる市民がやるという方向に努力していきたい。

#### □自治会交付金について

Q 瑞穂市の財政がいいようなことを言われるが、副市長は瑞穂市の財政はこれから大変な

ことになるということで、自治会長の手当や広報配布手数料、校区の活動等を全体で 300 万減らした。市の財政状況をどのように考えているのか。

A 総務委員長

議会としては、皆様の税金をいただく中で、市民の皆様方とともに瑞穂市の街づくりの 10 年 20 年 30 年先を見ながらどう使うか、慎重に進めなければならない。自治会活動費については瑞穂市は県下で比較すると高い方で、他市町並に抑えたいという執行部からの説明の中で、街づくりはまさに市民の皆様が主体となってしっかりした街を作るという事で、自治会の交付金の削減を苦渋の中で決めさせていただいた。

□区費や区長について

Q 区について議会ではどう考えているか、本田区では新しい人は区費を払っていないが古い人は払ってる。基準が分からない。土地所有者に変更があった場合は連絡をくださいと言うが、土地の売買など個人情報を知らせる必要はないと思う。どういうことか。

A くまがい議員

区によって違うので市として統一はできないというのが現状であります。穂積区では区費は廃止しました。区によって基準も、取る取らないもだんだんばらけてきています。

□（仮称）大月運動公園整備事業について

Q 10 月上旬、棠南中学校区のスポーツフェスタで市長が運動公園を作ると挨拶し、その後、議長が議会も全面的に協力をしていくと言われた。議会が全面的に協力するという事は議会のチェック機能を放棄してるんじゃないか。トラック競技をする人がどの位いるのか。費用対効果という事で厳しく査定をしていただきたい。瑞穂市の議会基本条例は、情報公開しなさいと言っているが、我々市民にはなにも知らされていない。

A 議長

（仮称）大月運動公園整備事業の件については、平成 18 年第 1 次総合計画の中で議会も通してきた。昨年度から文教厚生委員会でも話し合いを進めている。議会は執行部と市長の提案に沿って進んでいくわけで、議会と相談をしながら進めていきたい。

A 堀議員

私は設計予算 1500 万円は承認した。5 億円以内で作るというのには賛成したけれども図面等に関しても秘密事項で、5 億円の根拠を示せという事に対してもなんら示されていない。

Q （仮称）大月運動公園整備事業のことは 10 億円もかかる。議会として市長に対してチェックをし、この問題についての報告会をお願いしたい。3 月の議会の予算という事になると 3 月の直前に報告会をやってもアリバイ工作みたいな話になる。

A 文教厚生委員長

（仮称）大月運動公園整備事業について全員協議会などで何回も検討を重ねてる最中で、設計段階で 10 億円を 8 億円位にしたらどうか検討する段階に来ている。トラックの図面とかスタンドを作るという事が明らかになってきた。瑞穂市の身の丈に合ったグラウン

ドであるのかどうかというような観点から論議していきたい。

Q 議長は総合計画にのっとって魅力ある住居環境を作るというが、今あそこに陸上競技場を設ける理由はない。議員の皆さんはおおむね賛成ですが、市民にとって大きなお金のかかる競技場が必要なのか、理由が分からない。

A 文教厚生委員長

これもアンケートも取っていて、スポーツに親しむ方々の要望も結構多かった様です。また、旧兼南町時代からのタウン構想というのがあって、今回のような提案が出てきた。その中でどれだけの規模にするか、どれだけ利用されるかといった議論になる。

Q アンケートで要望があったというがほんとか。陸上競技場よりも総合体育館の方が子供たちが色々な種目に参加できる。陸上競技場を使う人は限られている。アンケートがあったからというが、市民の要望を反映していない。費用対効果を明確にしていだかないと市民としては納得できない。

A 文教厚生委員長

議会として慎重に審議を重ねていきたい。

Q (仮称)大月運動公園整備事業の問題について我々市民が判断できるものさしが何一つない。議会として市民に明らかにする事が必要だ。

Q スポーツアンケートをとったが、何を聞きたいのかよく分からない。スポーツする人が多いという結果があったというが、だからといって大月グラウンドが必要か必要でないかは別問題である。スポーツができる施設が少ないというが、部活動はほとんどできない状況で、使うにも色々な申請が必要で使いにくい。大月グラウンドができてもし使いにくいという事が想定される。陸上の上位を占めている岐阜市、下呂市、多治見市、大垣市はグラウンドは持っているが、指導者たちがしっかりしている。瑞穂市にはスポーツをする地盤がないと思うので、大月グラウンドが出来てもゴーストタウン化していきだろろうが、そういった事は考えたことがあるか。

A 文教厚生委員長

教育委員会から利用計画案が示され、5万3000人位の予想をされている。

Q 教育委員会のデータや資料は、過去の実績をみても信頼性がかなり低い。体育協会の中で、理事と頑張りたい子供たちの思いが一致していない。よくしていきたいと意見をいうと面倒な奴だというような捉え方をされるところが実態としてある。頑張ろうという人もいっぱいいるが、それが実際にはできない状況で、理事の方たちはあまり動きたくないのかもしれないが、盛り上がりには欠けるのではないかと、そのあたりも精査していただきたい。

Q 今の利用計画のデータ、公開していただきたい。

A 文教厚生委員長

(仮称)大月運動公園整備事業の資料はマル秘情報になっているので、教育委員会と相談させていただく。

□報告会、意見交換会について

Q 初めて報告会に出たが、最初から全てがまるで見えない。さっきから費用対効果、給食

やら市民の歌、大月公園、いろんな事出てるのですが、これ吸い上げて発表してもらえるのか。

A 文教厚生委員長

第1回目もホームページで反映させていただいており、2回目も同じように対応させていただく。

Q 第1回目の報告会の前に、いわゆるオーバーヘッド、パワーポイントなど見えるような形でやってくださいと要望を出した。例えば、野田橋はどこの話か分からず、聞いている人で共有できる情報になっていない。次回はスクリーンか何かで目に見えるような仕掛けでやっていただきたい。

A 議会活性化推進特別委員長

活性化推進特別委員会の方で検討しておりまして、予算の問題を考えながら、今後前向きに検討していきたい。

Q リースとか借りるという方法もあります。購入するという以外の選択肢も考えてください。

#### 4、閉会挨拶

□副議長 挨拶

市役所の1階の左側のご意見箱、3階の議会事務局には各議員のボックスがあります。意見があったらそちらの方もご利用くださいませ。